



業界初・製造特許申請中

リケボ

サイクル ファイバード

リサイクル衣料で **不燃** **防災** の建材

リサイクル衣料不燃建材「YAMAZEN 再生衣料不燃内装建材」を開発 -再生衣料防災床材も同時開発-

株式会社山善(本社:大阪市西区、代表取締役社長:岸田貢司)の家庭機器事業部は、廃棄される衣料品(混紡衣料品等)を再利用した、リサイクル衣料不燃建材「YAMAZEN再生衣料不燃内装建材※¹」を開発しました。本製品は、廃棄される衣料(混紡衣料品等も含む)を回収し、ボタンやファスナーを取り除いた後、粉碎し特殊な再生ポリエステル樹脂を使用して圧縮成形したボードを不燃化、防災化したものです。当社はこのリサイクルケンザイボードを不燃認定および防災認定を受けた再生衣料建材※²として各施設やゼネコン向けに販売する予定です。



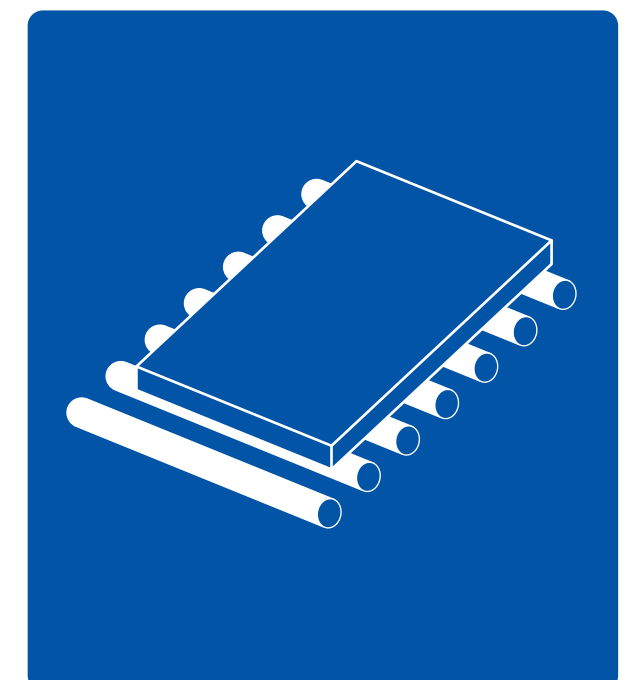
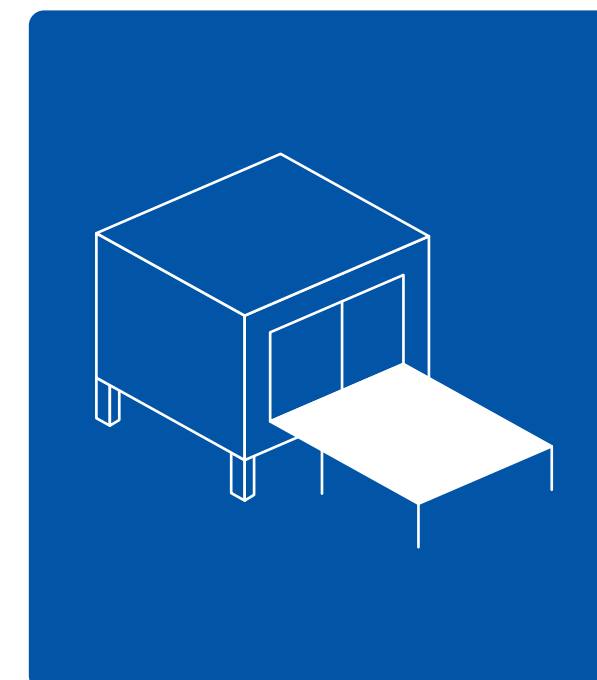
壁・天井(不燃)

※写真はイメージです。



床材(防災)

※写真はイメージです。



日本では年間約80万トンの衣類が廃棄されています

ワタに特殊な繊維を混ぜます

加熱した後、圧力を加え冷却します

これまで市場には再生スラグ※³を利用した不燃認定建材が存在していますが、**衣料品を再生した不燃認定建材は業界初※⁴です**。リサイクル衣料不燃建材は、再生スラグ建材に比べて**軽量で加工が容易**という特長があります。当社は合板や木材の不燃化設備を活用し、独自の不燃剤を調合することで本製品の開発に成功しました。

この製品は「衣料廃棄量の削減」や「建築現場での脱炭素化推進」に貢献します。さらに、例えば自治体が回収した衣料をその地域施設の建材として再利用することで、資源の有効活用と環境負荷の低減を図る理想的な**サーキュラーエコノミーの実現**が期待されます。

大量に廃棄される古着のアップサイクルとして大量の使用が期待できる建材です

※¹ 「YAMAZEN再生衣料不燃内装建材」「YAMAZEN再生衣料防災床材」は特許申請準備中です。

※² 建築基準法に基づき、国土交通大臣が認定した、火災に強い建築材料のことです。具体的には、火災時に燃焼せず、変形や溶融などの防火上有害な損傷を生じず、避難上有害な煙やガスを発生しない性能を持つことが求められます。さらに消防法に基づき公益財団法人である日本防災協会が自主的に設定した基準を満たした、防災性能を有する製品の事です。

※³ 主に廃棄物処理施設で、焼却灰を高温で溶融し、冷却・固化して得られるガラス状の固化物のことです。このスラグは、土木資材として再利用され、道路の路盤やコンクリートの材料などに利用されます。

※⁴ 自社調べ(2025年4月末現在)。製品の受注をいただいてから、国土交通省の不燃認定を取得する手続きに入ります。

※仕様は改良の為、予告なく変更される事があります。※写真はイメージです。